

# 体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

防災キャンプ2014in京都 ～防災力をつけるために～

京都府教育委員会

## 【事業のポイント】

- 防災に関するさまざまな体験活動の実施
- 自然災害に関する基礎的な知識の習得
- 災害発生時の適切な対応等への理解とスキルの向上
- 防災への知識・理解、意識・関心の向上
- 協力団体・関係機関と連携したプログラムの実施



【体験 救命救急システム】

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

京都府においては、平成24年8月、府南部を中心に局地的豪雨が襲い、土砂災害や河川の氾濫により、死者2名、床上浸水639戸、床下浸水2,016戸、全壊家屋34戸と多大な被害が発生し、宇治市内の全小中学校で避難所が設営された。

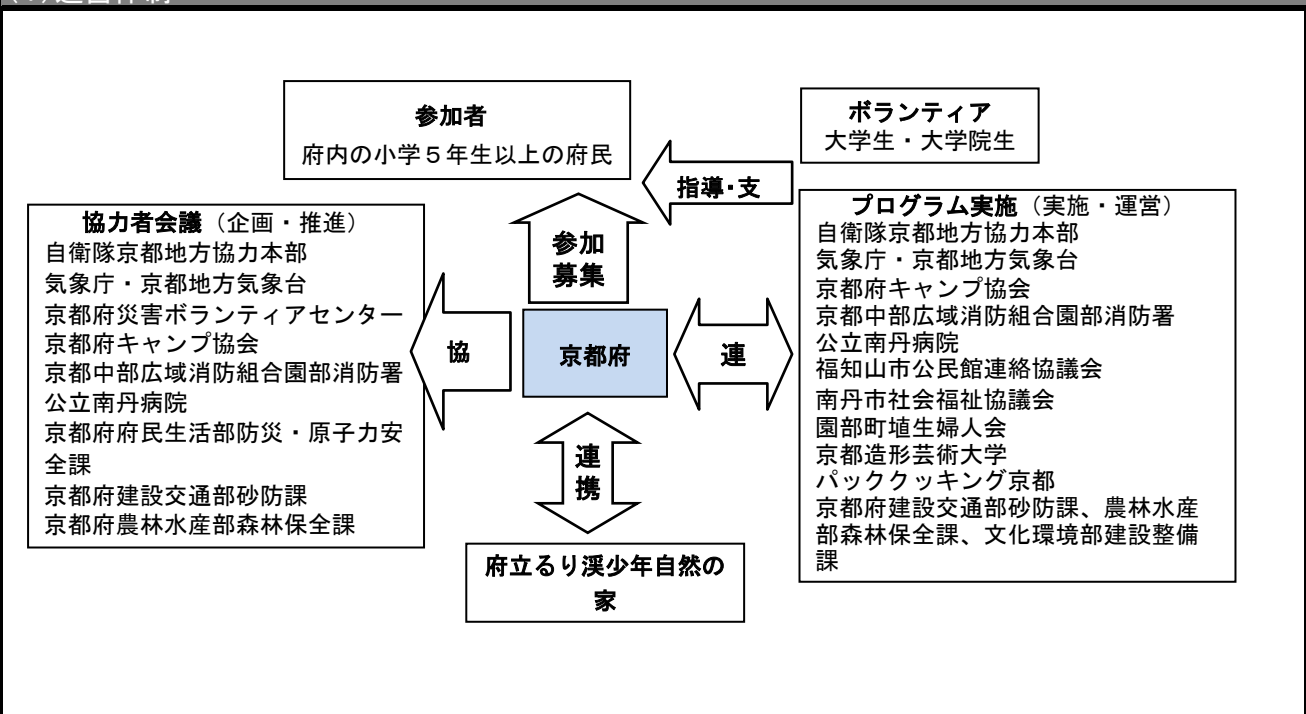
さらに、昨年9月の台風18号では、特別警報が全国ではじめて発令され、約5,000戸近くの浸水被害が発生し、約35万人に避難勧告、約42万人に避難指示が出されるなど大変な被害状況となった。

### (2) わらい

京都府では2年連続、大雨や台風による甚大な水害に見舞われたことを鑑み、昨年度の取組を踏まえながら、水害についての知識、理解、備えから具体的な対応まで、学習・体験できる場を設定し、子どもから大人まで、また、それぞれの町での防災訓練等の計画に取り入れられるプログラムを構成した「防災キャンプ2014in京都」を実施する。

## 2. 事業概要

### (1) 運営体制



(2)開催実績	
月	内 容
5月	事業日程の調整及び運営体制の検討、協力者調整
6月	防災キャンプ2014in京都 募集チラシの作成 プログラム担当者と日程及び活動内容を調整
7～8月	防災キャンプ2014in京都 募集チラシの配付 プログラム担当者と日程及び活動内容、準備物の詳細調整 ボランティアスタッフの募集
9月10日	防災キャンプ2014in京都 現地打合せ会（京都府立るり溪少年自然の家）
9月13日	ボランティアスタッフ事前研修会
9月13日～15日	防災キャンプ2014in京都
12月9日	防災キャンプ2014in京都 協力者会議
12月17日	普及・啓発「京都府公民館連絡協議会評議員会及び地区公連等合同会議」
2月5日(予定)	普及・啓発「平成26年度山城地方公民館職員等研修会」

### 3. 防災キャンプ実施概要

日 時 プログラム	プ ロ グ ラ ム 詳 細		
9月13日(土)			
14:00 開講式	あいさつ オリエンテーション		
14:30 学び①	京都府の風水害と水害が起こるしくみについて		
15:30 学び②	防災気象情報について		
16:30 制作①	災害時に役立つ簡単グッズ作り		
17:30 制作②	段ボールでパーテーション・寝床作り		

18:30 非常食体験① (災害用備蓄パン)

夕食



20:00 避難所での生活体験① (ろうそく・ランタンのみを使用)

体験①

22:00

就寝

9月14日 (日)

6:00 朝の体操 非常食体験② (アルファ化米) 水を入れるだけでご飯が炊ける非常食

起床



7:30

朝食

9:00 体験談② 「被災者支援の体験談」

学び④



10:00 身近なもので作る簡易担架 救命救急システム等

体験②



11:30 非常食体験③ (豚汁・おにぎり) 地元婦人会と自衛隊による炊き出し

昼食



13:00 講演「東日本大震災における災害支援」

学び⑤



14:00 「HUG」避難所運営ゲーム

体験③



15:00 給水車からの給水体験  
体験④



16:00 避難所簡易間仕切りシステムについて  
制作③



17:30 非常食体験④ (パッククッキング) ビニール袋を使った炊飯・カレー  
夕食



19:30 避難所での生活体験② (懐中電灯のみを使用)

入浴  
21:30  
体験⑤  
22:00  
就寝

9月15日 (月)

6:00 朝の体操 段ボールのパーテーション・寝床撤収  
起床



7:30 非常食体験⑤ (カートンドッグ)  
朝食



9:00 心肺蘇生法・応急手当 消火・緊急通報訓練等  
体験⑥



11:30 非常食体験⑥ (お粥・甘辛豚肉)  
昼食



12:30 あいさつ ぶりかえり (アンケート記入)

学び⑥

13:30

閉講式



#### 4. 普及啓発の実施概要

活動名 : 京都府公民館連絡協議会評議員会及び地区公連等合同会議  
趣旨 : 防災キャンプの成果を普及するため、事業報告や意見交換の場を設ける。  
実施期日 : 平成26年12月17日(水)  
実施場所 : 長岡京市立中央公民館  
参加人数 : 22人  
対象 : 京都府公民館連絡協議会評議員、地区公民館連絡協議会事務局長他  
プログラム : 事業概要報告及び意見交換

活動名 : 平成26年度山城地方公民館職員等研修会  
趣旨 : 公民館、生涯学習センター等の社会教育諸施設における実践的な研修を行い、各公民館職員等の資質向上と交流を図り、今後の各事業の充実・発展に役立てる。  
実施期日 : 平成27年2月5日(木)  
実施場所 : 京田辺市立中央公民館  
参加人数 : 26人  
対象 : 公民館、生涯学習センター等の施設職員、市町教育委員会関係職員等  
プログラム : 講演「公民館施設等における避難所対応について」  
体験活動「被災体験ワークショップ」  
概要報告「防災キャンプ2014in京都」

#### 5. 成果と課題

##### (1) 事業成果

###### 【成果】

- ・アンケート結果によると、全てのプログラムについて参加者の92.6%が「よかった」「まあまあよかった」と回答している。各方面の協力により、充実した内容のプログラムが実施できた。3日間のプログラムの組み立てもよかった。
- ・避難所体験は、参加者が避難所(府立り湫少年自然の家)に避難して来たことを想定し、見ず知らずの人とパーティーを作成することで、自らが考え、互いに協力・工夫して行動するプログラムとなった。参加者アンケートでは一番印象に残ったプログラムが避難所体験であった。
- ・本事業は3年目を迎え、各協力団体との協力体制も構築されつつある。プログラムの実施にあたり積極的に提案をいただける団体もあり、本事業を継続して取り組んできた成果の1つと考えられる。

###### 【参加者の声】

- ・避難所生活を送る経験ができたことは、貴重で勉強になった。また、避難所生活を送られている人たちが大変だと思うので、ボランティアをやってみようという意識が芽生えた。
- ・家族で参加することができてよかった。同じ意識レベルで災害について考えることができた。班行動が多く、日ごろ知らない人と協力することがないのでよい体験ができた。
- ・災害のこわさを改めて知った。被災者の気持ちもよくわかり、よい経験になった。
- ・このキャンプでは実際の避難者の気持ち、不便さがほんの少しだけだが理解できた。もし、自分が避難することになっても、冷静に対応できることが増えたのではと思う。
- ・災害から自分の身を守るための行動がわかった。

##### (2) 事業運営上の課題・留意点

- ・体験・学習内容に応じて、大人と子ども(高校生)を区別したプログラムを検討したい。
- ・被災者を救出・支援した体験談やHUG(避難所運営ゲーム)の評価が高かった。参加者の防災に対する意識も高く、次年度は被災者を支援する立場での体験・学習プログラムを検討したい。
- ・本事業に関わった様々な機関・協力団体とのつながりを継続し、今後の取組に活かしていくことが大切である。
- ・国からの委託事業を受けて参加費は無料で実施しているが、今後は参加費の徴収について検討したい。

### (3) その他

府民の自然災害に対する防災意識の向上を感じている。既に、来年度の防災キャンプ事業の実施について問い合わせもあり、国からの支援を受けて平成27年度も防災キャンプを実施したい。

## 6. 団体プロフィール

〒602-8570

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ  
内町

京都府教育庁指導部社会教育課

TEL 075-414-5886

FAX 074-414-5888



京都府庁(旧本館) 国の重要文化財